

令和5年度

小・中学校における
租税教育実践報告

仙台南地区租税教育推進協議会

発刊にあたって

仙台南地区租税教育推進協議会長
山元町教育委員会
教育長 奥野光正



令和5年度の「仙台南地区租税教育推進協議会」の事業が、滞りなく行われたことにつきまして、関係の皆様への御理解と御協力に感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症により、これまで行ってきた事業が中止となることが続きましたが、今年度は定期総会から研究発表会まで、関係者が一堂に会することができたことに安堵しております。

本協議会は、教育関係者及び税務関係者が協力して、児童生徒及び一般の方に対する租税教育の推進を図ることを目的として、租税教育用教材の提供や租税教室の開催の支援等、様々な事業を展開しています。租税教育は、国及び地方自治体の財政や租税の意義や役割を正しく理解することで、社会の仕組みを知り、感謝の気持ちを育み、税を通して社会に貢献する意識を持った人間に成長していくために必要なものです。

また、租税教育は、税の使われ方や使い道について関心を高めていくことにより、選挙を通じて自分の意思を政治に反映させるという、主権者教育の一つとして、とても意義深いと考えます。

11月16日に行われた研究発表会では、名取市立館腰小学校、岩沼市立岩沼西中学校、亘理町立吉田小学校及び山元町立山下小学校の各教諭が実践研究の内容を発表しました。

小学校においては、税の学習から児童が興味・関心を持ったことをテーマに探究活動をし、分かったことをICT機器等で発表し合い、学びを深めていました。税金が身近なところにも関わっていることを知ることで、児童の税に対する理解に変容が見られたことに租税教育の大きな成果を感じました。中学校においては、小学校での租税教育の実践を踏まえて、奈良時代と現代の税制度を比較しながら税の必要性を考える学習でした。小中学校の学びの連携により、生徒の理解を高めたすばらしい実践研究でした。

発表していただいた先生方には、昨年度から計画、実践、資料作成、発表と取り組んでいただいたことに感謝申し上げます。永年継続されている租税教育ですので、小中学校において系統性を持って取り組み、税の意義や理解を深めるとともに政治に関心を持つ児童生徒の育成の一助となることを願っております。

結びに、これまで本報告書発刊に御尽力いただきました仙台南税務署の皆様、税務関係の皆様や学校関係の皆様の御協力に心より感謝申し上げ、挨拶といたします。

令和6年3月

目 次

1	仙台南地区租税教育推進協議会のあゆみ	1
2	令和5年度 租税教育推進協議会の主な活動状況	3
3	令和5年度 租税教育研究発表要項（順不同・敬称略）	
(1)	「租税への関心を高め、意義や役割への理解を深める指導の工夫」 ～第6学年 総合的な学習の時間「税金について考えよう」の学習を通して～	11
	名取市立 館腰小学校 教諭 川村 理恵	
(2)	「既習事項を活かし、税の学習に主体的に取り組む生徒の育成」 ～古代と現代の税制度の比較を通して～	21
	岩沼市立 岩沼西中学校 教諭 高橋 尚子	
(3)	「税への興味・関心を高め、税金の必要性や重要性を実感するための指導の工夫」 ～自分でテーマを設定し、調べ、伝え合う活動を通して～	33
	亘理町立 吉田小学校 教諭 川田 真	
(4)	「租税についての関心を高め、税金を身近に感じる児童の育成」 ～学校生活と税との関連を調べ、解決する学習を通して～	41
	山元町立 山下小学校 教諭 佐藤 圭祐	
(参考資料)	租税教育実践発表一覧	51
	令和5年度 仙台南地区租税教育推進協議会 役員名簿	59

1 仙台南地区租税教育推進協議会のあゆみ

(1) 設 立

この会は、仙台南地区の税務及び教育関係者が協力して、児童・生徒並びに社会人に対する租税教育を推進し、納税道義の高揚に必要な事項について協議し、また、連絡協調を図ることを目的としている。

当協議会は、昭和62年3月25日の設立準備委員会を経て、次の機関構成をもって、昭和62年5月25日に設立されている。

(2) 構成機関

構 成 機 関 名	
教 育 関 係 機 関	税 務 関 係 機 関
宮城県教育庁仙台教育事務所 名取市教育委員会 岩沼市教育委員会 亘理町教育委員会 山元町教育委員会 各地区校長会	仙台南税務関係団体協議会 宮城県仙台南県税事務所 名取市役所 岩沼市役所 亘理町役場 山元町役場 仙台南税務署

(3) 事業内容

- イ 租税教育の計画策定
- ロ 児童・生徒の租税教育に関する座談会及び研究発表会の開催
- ハ 租税教室の開催
- ニ 税に関する作品募集の支援
- ホ 小・中学校における租税教育実践報告書の作成
- ヘ 租税教育用教材の提供
- ト 税を考える週間行事への協力

(4) 歴代会長

初代	昭和62年 5 月 25 日	～	平成元年 6 月 13 日	岩沼市教育委員会	教育長	遠藤	幸四郎
2代	平成元年 6 月 13 日	～	平成5年 6 月 1 日	名取市教育委員会	教育長	佐々木	健
3代	平成5年 6 月 1 日	～	平成8年10月15日	山元町教育委員会	教育長	菅野	丈治
4代	平成8年10月15日	～	平成13年 6 月 8 日	亶理町教育委員会	教育長	三品	堯明
5代	平成13年 6 月 8 日	～	平成14年12月31日	岩沼市教育委員会	教育長	砂金	勲
6代	平成15年 1 月 1 日	～	平成15年 6 月 10 日	岩沼市教育委員会	教育長	影山	一郎
7代	平成15年 6 月 10 日	～	平成16年 9 月 30 日	名取市教育委員会	教育長	太田	洋一
8代	平成16年10月 1 日	～	平成17年 6 月 2 日	名取市教育委員会	教育長	阿部	哲男
9代	平成17年 6 月 2 日	～	平成19年 3 月 31 日	山元町教育委員会	教育長	佐々木	陽一郎
10代	平成19年 5 月 10 日	～	平成19年 6 月 1 日	山元町教育委員会	教育長	横山	俊二
11代	平成19年 6 月 1 日	～	平成21年 6 月 1 日	亶理町教育委員会	教育長	鈴木	光範
12代	平成21年 6 月 1 日	～	平成23年 6 月 24 日	岩沼市教育委員会	教育長	影山	一郎
13代	平成23年 6 月 24 日	～	平成25年 6 月 20 日	名取市教育委員会	教育長	丸山	春夫
14代	平成25年 6 月 20 日	～	平成27年 6 月 26 日	山元町教育委員会	教育長	森	憲一
15代	平成27年 6 月 26 日	～	平成29年 6 月 28 日	亶理町教育委員会	教育長	岩城	敏夫
16代	平成29年 6 月 28 日	～	令和元年 7 月 2 日	岩沼市教育委員会	教育長	百井	崇
17代	令和元年 7 月 2 日	～	令和3年 7 月 16 日	名取市教育委員会	教育長	瀧澤	信雄
18代	令和3年 7 月 16 日	～	令和5年 6 月 23 日	山元町教育委員会	教育長	菊池	卓郎
19代	令和5年 6 月 23 日	～		亶理町教育委員会	教育長	奥野	光正

2 令和5年度 租税教育推進協議会の主な活動状況

○ 児童・生徒の租税教育に関する座談会

(内容) 研究発表会に向け、児童・生徒の租税教育に直接携わっている教員同士の意見交換を分科会方式で実施した。

年 月 日	令和5年8月18日(金)
場 所	亘理町役場
出 席 者	仙台南地区租税教育推進協議会役員 教育関係者・関係民間団体・税務関係官庁 令和4年度、令和5年度、令和6年度研究発表(予定)校

○ 児童・生徒の租税教育に関する研究発表会

(内容) 研究発表指定校の教諭が、租税教育に関する研究内容を発表した。

年 月 日	令和5年11月16日(木)												
場 所	岩沼市民会館												
発 表 者	<table> <tr> <td>名取市立 館腰小学校</td> <td>教諭</td> <td>川 村 理 恵</td> </tr> <tr> <td>岩沼市立 岩沼西中学校</td> <td>教諭</td> <td>高 橋 尚 子</td> </tr> <tr> <td>亘理町立 吉田小学校</td> <td>教諭</td> <td>川 田 真 祐</td> </tr> <tr> <td>山元町立 山下小学校</td> <td>教諭</td> <td>佐 藤 圭 祐</td> </tr> </table>	名取市立 館腰小学校	教諭	川 村 理 恵	岩沼市立 岩沼西中学校	教諭	高 橋 尚 子	亘理町立 吉田小学校	教諭	川 田 真 祐	山元町立 山下小学校	教諭	佐 藤 圭 祐
名取市立 館腰小学校	教諭	川 村 理 恵											
岩沼市立 岩沼西中学校	教諭	高 橋 尚 子											
亘理町立 吉田小学校	教諭	川 田 真 祐											
山元町立 山下小学校	教諭	佐 藤 圭 祐											

児童・生徒の租税教育に関する座談会

開催日：令和5年8月18日(金)
開催場所：亘理町役場



会長挨拶：亘理町教育委員会
教育長 奥野 光正



顧問挨拶：仙台南税務署
署長 千葉 治彦



第一分科会



第二分科会



第三分科会



第四分科会



副会長挨拶:公益社団法人仙台南法人会
会長 佐藤 和也

児童・生徒の租税教育に関する研究発表会

開催日：令和5年11月16日(木)
開催場所：岩沼市民会館



会長挨拶：亶理町教育委員会
教育長 奥野 光正



祝辞：岩沼市
市長 佐藤 淳一



発表：名取市立 館腰小学校
教諭 川村 理恵



発表：岩沼市立 岩沼西中学校
教諭 高橋 尚子



発表：亶理町立 吉田小学校
教諭 川田 真



発表：山元町立 山下小学校
教諭 佐藤 圭祐



講評:宮城県仙台教育事務所指導班
副班長副参事(指導主事) 古積 裕之



感謝状贈呈



記念品贈呈:仙台南間税会(左から3人目が仙台南間税会遠藤会長)

3 令和5年度 租税教育研究発表要項

令和5年度 租税教育に関する研究発表者

開催日 令和5年11月16日(木)
開催場所 岩沼市民会館



名取市立 館腰小学校

教諭 川村 理恵

「租税への関心を高め、意義や役割への理解を深める指導の工夫」
～第6学年 総合的な学習の時間「税金について考えよう」の学習を通して～



岩沼市立 岩沼西中学校

教諭 高橋 尚子

「既習事項を活かし、税の学習に主体的に取り組む生徒の育成」
～古代と現代の税制度の比較を通して～



亘理町立 吉田小学校

教諭 川田 真

「税への興味・関心を高め、税金の必要性や重要性を実感するための指導の工夫」
～自分でテーマを設定し、調べ、伝え合う活動を通して～



山元町立 山下小学校

教諭 佐藤 圭祐

「租税についての関心を高め、税金を身近に感じる児童の育成」
～学校生活と税との関連を調べ、解決する学習を通して～

令和5年度 租税教育に関する研究発表要項

名取市立館腰小学校

教諭 川村 理恵

1 研究主題

租税への関心を高め、意義や役割への理解を深める指導の工夫

～第6学年 総合的な学習の時間「税金について考えよう」の学習を通して～

2 主題設定の理由

租税についての意義や役割を理解していくことは、これから大人になり納税の義務を負う児童にとって必須であると考えます。

租税に関する学習は、第6学年社会科の指導計画において、「子育て支援の願いを実現する」(7時間扱い)の中の「税金の働き」(1時間扱い)で取り扱う内容となっている。児童が租税についての意義や役割を深く理解するためには、十分な時数は確保されていない。

そこで、児童自らが課題を設定し、調べてまとめるという学習を通して租税について理解を深めることが、総合的な学習の時間のねらいを達成するのに適していると考え、本主題を設定した。

3 研究目標

児童が課題を設定し、調べたり発表し合ったりする活動を通して、租税への関心を高め、租税の意義や役割への理解を深める指導法を探る。

4 研究方法

- (1) 児童の租税に関する実態調査を行う。
- (2) 租税教室を実施し、租税に関して理解を深めさせる。
- (3) 税金について調べさせ、ノートにまとめさせる。(家庭学習)
- (4) 課題別にグループを編成し、プレゼンテーションにまとめさせる。
- (5) 発表会を開き、調べた内容を共有させる。
- (6) 2度目の租税教室の実施と、小学校社会科用学習資料「わたしたちのくらしと税金」に取り組みさせることにより、学習した内容を振り返らせ、理解を深めさせる。
- (7) 事後調査を行い、児童の変容をみる。

5 研究計画

令和4年	5月	実態調査	租税教室(講師 仙台南法人会)
	5～7月	実践授業	
	8月	租税教室	(講師 税理士 木村 拓也氏)
	9月	研究のまとめ	

6 研究の概要

- (1) 児童の実態：事前調査(令和4年度 6年2組 25名 5月25日実施)

1 税金にはどんな種類がありますか。知っている税の名前を書きましょう。

消費税(15名) 所得税(5名) 固定資産税(3名) 法人税(2名) 住民税(2名)

国民税、たばこ税、相続税、自動車税、ポテトチップス税、分からない（1名）

2 税金は誰が納めるものですか。

国民（大人も子どもも）	（20名）
大人	（4名）
子ども	（0名）
納めたい人だけ	（0名）
分からない	（1名）

3 税金は、どんなことに使われていますか。

学校	（7名）
医療	（7名）
国民がよりよく暮らすための予算	（5名）
ゴミ処理	（5名）
道路整備	（4名）
公共施設	（2名）

救急車、給付金、教育費、自衛隊、消防、老人ホーム、国の政治、総理大臣のお給料、消防関係
地方税の場合はその地域のために使い、国税の場合は国をより良くするために使うから（1名）
分からない（2名）

4 税金は必要だと思いますか。

必要	（19名）
どちらとも言えない	（6名）
不要	（0名）

5 そう思う理由を書きましょう。

〈必要〉

税金がなければ生活が大変だから。

税金は高く、消費税は10%もとられるが、その分国民に幸福が巡ってくると思うから。

水道は原価よりも利用費のほうが高くその原価の足りない分を国税で収めているから必要だと思う。

国民が平等に生活していくため。

税金を使って公共施設などを便利にしていかなければ日本は成り立たないと思ったから。

医療にお金がなくなると今みたいに病気が流行ったときに対応ができなくなるかもしれないから。

健康で豊かな生活を送るため。

救急車などを呼ぶときにお金を払わないといけなくなるから。

自然、医学などに使うから。

道路や橋を整備するお金がなくなるから。

なんとなく。

〈どちらとも言えない〉

徐々に税金が増えているから。

税金がないと困るけど、お金を稼げば稼ぐほどお金を取られる税金もあるから。

コロナの時期で給付金があるけど、その分の税金を減らせばいいと思う。

必要だとは思いますが、たくさん稼いで半分以上税金に渡すのは不公平だと思うから。

【考察】

「税金の使われ方」に関しては、実態調査を行う前に、社会科で1時間の学習を終えていることから、児童は、税金は「公共のために使われていること」「国民の生活をより良くするために使われていること」を、ある程度理解しているようだった。

税金の必要性については、「必要19名」「どちらともいえない6名」と答えており、「不要」は0名であった。税金は、自分たちのために使われているため、ないと困ることがたくさん出てくることから、必要であると考えている児童が多かった。税金がなかったらどんな生活になるのかを考えた児童もいた。「どちらとも言えない」と答えた児童も、たくさん稼いで半分以上税金に渡すのは不公平だと思うなど、仕組みに対しての考えはあるものの、税金の必要性は感じている。

一方、仕組みや具体的な知識はまだ浅い。そのため、税金がどんどん高くなっていることに対して不安を感じている児童もいる。

社会科の学習で、1時間学習しただけでは、税金の意義や役割への理解を深めることは難しいことと、児童は税金に対する興味関心が高いということが分かった。

(2) 学習計画

月	教科	学習内容	時数
5月	社会	単元「子育て支援の願いを実現する」の中で、「税金の働き(1時間扱い)」について学習する。	7(1)
	総合	「租税教室で税金について学ぼう」	1
6月 7月	家庭学習	「税金に関して調べよう」 ・税金に関して調べ、ノートにまとめる。	
	総合	「税金に関して調べよう」 ・一人一人課題を設定し、その課題別にグループを編成して調べる。 ・プレゼンにまとめる。	5
		「税金に関して調べたことを発表しよう」 ・調べた内容を発表し、税金に関する理解を深める。	1
		「租税教室で税金について理解を深めよう」	1
		小学校社会科用学習資料「わたしたちのくらしと税金」で振り返る。	1
		「振り返る」 ・「税金について考えよう」の学習の感想を書く。	1

(3) 実践の概要

【第1次】「租税教室で税金について学ぼう」

租税教室を行う。(5月27日)

- ・税の種類
- ・税は必要か
- ・もし税金がなかったら ビデオ「マリンとヤマト 不思議な日曜日」 (消防、警察、道路信号、救急車)
- ・学校の中で税金が使われている物の例と金額(校舎、プール)
- ・税金が使われている物と金額
- ・国民の三大義務 税金=みんなが出し合う会費である

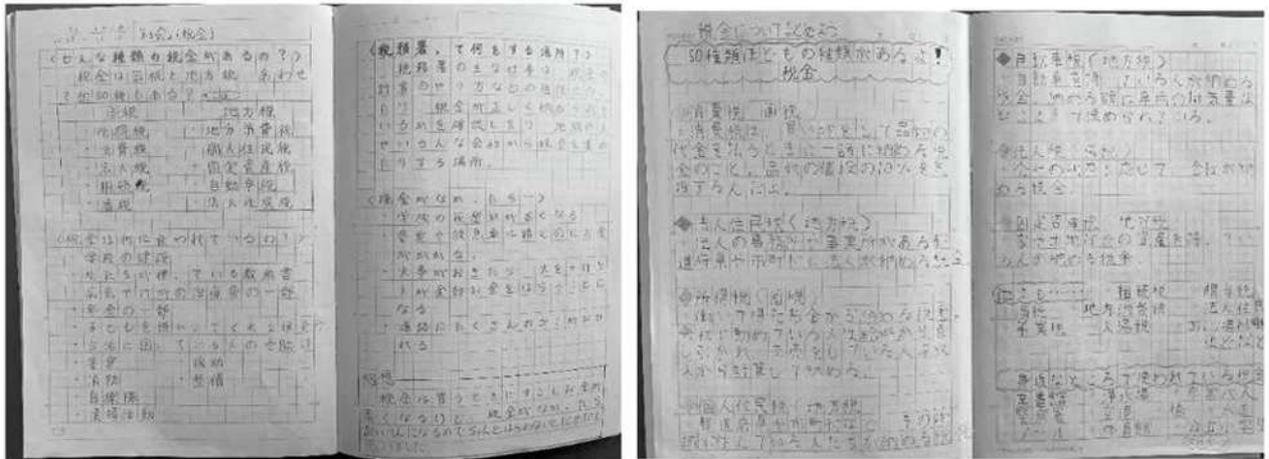


〈児童の様子〉

意欲的に話を聞いていた。手を挙げて質問する児童も多かった。税金がなくなったらどうなるかを具体的に考えさせる内容だったため、必要性を強く感じる児童が多かった。税金について「もっと知りたい」「自分で調べたい」という意見が出た。

【家庭学習】「税金について調べよう」

租税教室を受け、関心を持ったものについて自主学習ノートにまとめさせた。児童が調べた内容は、種類や使われ方、税務署について、歴史など幅広いものだった。払わないと大変なことになるので、ちゃんと払いたいという考えを書いた児童が多くいた。



租税教室で学んだ後だったため、見通しが持っていたことと、身近なものも税金が使われていることを知ったことで、大変意欲的に調べ、まとめていた。

【第2次】「税金に関して調べよう」

・一人一人課題を設定し、その課題別にグループを編成して調べ、プレゼンテーションにまとめる。
租税教室と家庭学習を基に、さらに詳しく調べたいことから課題設定させた。
児童が設定した課題・・・（種類、使い道、歴史、仕組み、世界の税金）

【第3次】「税金に関して調べたことを発表しよう」

・調べた内容を発表し、税金に関する理解を深める。
税金に関して、調べてまとめたことを発表し合い、学級全体で税金に関する知識を共有した。その際、質疑応答させながら、互いに教え合ったり、新たに生じた疑問について確認させたりして、税金に関する理解を深めさせた。



〈児童の様子〉

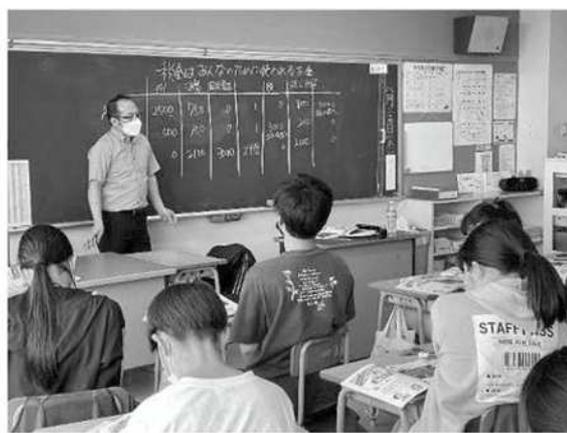
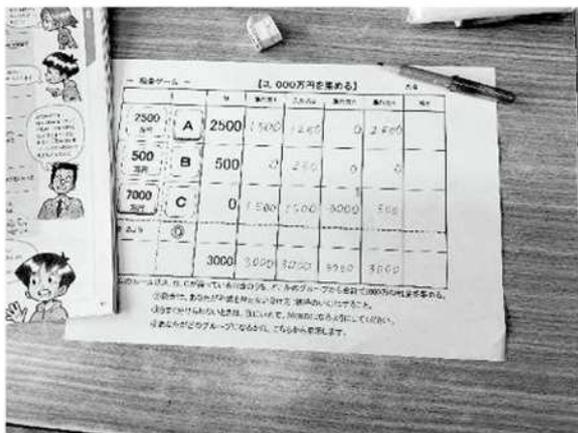
租税教室で学んだことに加え、自分で調べまとめる活動を行ってからグループでプレゼンテーションにまとめさせたことにより、調べたい内容がはっきりしている児童が多く、意欲的に活動することができていた。表やグラフ、クイズなどを用いながら興味を引き、分かりやすいプレゼンテーションを作成することが出来ていた。発表を聞いて初めて知ったことも多くあったようで、より一層関心を高めていた。税金について理解が深まり、必要性をさらに感じていた。

【第4次】「租税教室で税金について理解を深めよう」

租税教室を行う。（8月25日）

- ・税金はみんなのために使われるお金
- ・税金ゲーム

→いろいろな集め方を組み合わせることで、みんなが納得できるように税金の集め方を工夫している。



【第5次】「振り返ろう」

・小学校社会科用学習資料「わたしたちの暮らしと税金」を用いることで、これまで学んだ内容について問題を解きながら楽しんで振り返りができた。

〈税金について考えようの学習をしての感想〉

税金について調べたり、発表を聞いたりして学んだことや考えたことを書こう。

税金について学び、ありがたみを感じることができた。学習する前、昨年までは「高いなあ」とか「お金があ」とか、本当にもったいないと思っていた。更に、一番関係深い消費税が10%に引き上げられたことにより、うまいぼうが一円高くなってしまった。不満をいただくことが多々あった。たが、詳しく学習を進めていくうちに、そのような不満は消えていったような感じがしていた。特にしょうげきを受けたのは、小中学校の負担額だ。九年間で一人あたり九百万円弱も出していただいていることに、ありがたいと思えた。また、税理士、税務署など、初耳の言葉も覚えられたので勉強になった。また、色々な税の種類もあり、調べていくのが楽しかった。この学習をして良かったと感じる。

税金について調べたり、発表を聞いたりして学んだことや考えたことを書こう。

税金の仕組みや使い道はとても複雑な人だなあと思いました。そして、もし税金がなかったら、学校に行くのに1か月あたり約7万円くらい出して学校に行くのがおなげないことになってしまふので税が高くても納めることが大事だと思いました。また、選挙に投票して自分の考えを反映させることにより、国民が不満を持たないためにも選挙に投票することが大事だと思いました。

き問に思、たことは銀行は消費税を預けがれているのになぜ、銀行自体は税金をつくられないのが不思議に思いました。

税金について調べたり、発表を聞いたりして学んだことや考えたことを書こう。

税金は自分の身の回りに大々関わっていることに改めて気づきました。様々な種類の税金を払っていて、そして学校、道路などにはその税金が使われていて、税金に助けられていると思います。ほとんどの公共施設には税金が使われていて、本当に税金がなかったら今のようにくたせていないかと思います。国民が税金を払い、その税金で助けられているというシステムを考えた人は本当に平和になってほしいなと思います。学校、図書館など、いた人から利用するような場所だけでなく、浄水場やごみ処理場など、かかっている施設も税金でまわられて見えていないところも税金が生活を支えていると思います。

税金について調べたり、発表を聞いたりして学んだことや考えたことを書こう。

税金の学習をやるまで税金とはなにかわからなかったけれども、税金の学習をしてから、税金はすごく大事なものだとなりました。税金は、住民の安全や快適なくらしのためや、みんなが利用できる施設のためにつかわれていることがわかり、なくなってしまうのはダメなものだとなりました。税金を納めるということはわたしたちが、健康で豊かなくらしを送るために欠かせないことだと思います。学習をして、税金を大切にしたいと思いました。

(4) 児童の実態：事後調査（令和4年度 6年2組 28名 8月30日実施）

1 税金にはどんな種類がありますか。知っている税の名前を書きましょう。

消費税（15名→21名） 法人税（2名→3名） 住民税（2名→9名） たばこ税（1名→12名）、
相続税（1名→2名） 固定資産税（3名→11名） 自動車税（1名→14名） 所得税（5名→11名）
酒税9名 ポテトチップス税、事業税、贈与税、入湯税、ゴルフ場利用税（1名）

2 税金は誰が納めるものでしょうか。

国民（大人も子どもも） （20名→24名）
大人 （4名→4名）
子ども （0名）
納めたい人だけ （0名）
分からない （1名→0名）

- 3 税金は、どんなことに使われていますか。
- | | |
|------------------------|----------|
| 学校 | (5名→13名) |
| ゴミ処理 | (4名→4名) |
| 医療 | (7名→3名) |
| 公共施設・公共の場 | (2名→5名) |
| 消防車、警察 | (2名→5名) |
| 道路整備 | (4名→4名) |
| 信号機、ダム、児童センター | (1名) |
| 国のみんなのため 国を支えるため 国民のため | (4名→7名) |
- 4 税金は必要だと思いますか。
- | | |
|-----------|-----------|
| 必要 | (19名→24名) |
| どちらとも言えない | (6名→4名) |
| 不要 | (0名) |
- 5 そう思う理由を書きましょう。
- 〈必要〉
- 救急車や医療費が高額になるから。(6名)
 - アニメで税金がないと大変なことになるのを知ったから。(6名)
 - 税金がないと学校に行くためにお金をたくさん払わないといけないから。(5名)
 - 町の整備ができなくなるから。(5名)
 - ゴミ処理や壊れた場所の工事などをしてもらえなくなり、生活に困ることになるから。(3名)
 - 道を通るだけでお金がかかるから。(1名)
 - 火事になったときお金がかかるから。(1名)
 - 国民の生活が不便になるから。(1名)
 - 国民が平等に暮らすため。(1名)
- 〈どちらとも言えない〉(事前調査と同じ児童)
- 累進課税はお金を持っている人がかわいそうだから。
 - お金は大切だからあまり使いたくないけど税金はとても大切だから。

7 研究の成果と課題

(1) 成果

- ・1回目の「租税教室」後に、家庭学習として税金について調べ、ノートにまとめさせたことで、「もっと調べたい」「これはどういうことだろう」などの発言が見られ、総合的な学習の時間への意欲が高まった。
- ・児童が自ら税金についての課題を設定し、調べたことをまとめ、発表し合う活動を行ったことで、意欲的に学習に取り組むことができ、租税の意義や役割への理解を深めることができた。
- ・「税金がなくなったら、どんな生活になるのか」を具体的に考えさせたことで、納税の義務への意識が非常に高まった。
- ・学習の始めと終わりで「租税教室」を行うことで、興味関心を高める効果と、学習してきたことを確認する効果があった。税理士の方から専門的な話を分かりやすく聞くことで、税金の大切さを実感することができた。

- ・租税に関する知識が深まり、「しっかり税を納めよう」「18歳になったら選挙へ行こう」という意識が高まった。また、「生活の中の税金で支払われているものを大切にしなければならぬ」「教育は税金でまかなわれているものがたくさんあるから、しっかり勉強しなければならぬ」という考えも持つことができた。
- ・学習する前は税金について知らなかった児童や高くなる消費税にあまりいいイメージを持っていなかった児童が多かったが、租税について理解を深めたことで、税金の大切さや必要性を理解することができたので、租税教育の機会がとても大切だと感じた。

(2) 課題

- ・専門的な語句を調べても理解することが難しい場面があった。教師も租税に関する知識を付けて学習させる必要があると感じた。

令和5年度 租税教育に関する研究発表

岩沼西中学校
教諭 高橋 尚子

1 研究主題

『既習事項を活かし、税の学習に主体的に取り組む生徒の育成』
～古代と現代の税制度の比較を通して～

2 主題設定の理由

社会科では小学校6年生で我が国の政治の考え方や仕組みを学び、その中で税金の使い道や税を納める意義などを学習する。

また、現中学1年生は小学校5年生から6年生の2年間を通して租税について詳しく学習している。5年生においては租税教室を受講し、6年生では岩沼西コミュニティセンターや岩沼市議会会議場などの公共施設の見学を行った。見学では、税金と自分たちの生活との関わりが深いことを学習した。

中学校では1年時の歴史や3年時の公民で税に関して学ぶが、これまでの学びを活かした授業展開を工夫することで、現代の租税制度についての考えを深めることができるのではないかと考え、主題を設定した。

3 研究目標

「税」についての歴史やその役割について、比較・検討しながら理解を深めることで、税への関心をもち、主体的に考える生徒を育成する。

4 研究仮説

小学校時に体験的学習を通して得た学びを生かしながら、社会の歴史的分野で、古代の税制度の必要性を考察し、現代の税制度と比較する授業を実践することで、日本の租税制度についての関心がさらに高まり、主体的に学ぼうとする生徒の育成につながるのではないかと考える。

5 研究方法

- (1) 事前調査を行い、生徒の税に対する考えを確認する。
- (2) 歴史的分野の授業において、過去と現代の税制度を比較させることで、それぞれの税の目的について理解を深めさせる。
- (3) 授業のまとめをロイロノートに提出させ、生徒間で共有させる。
- (4) 授業後にアンケートを行い、現代と古代の税制度の違いについて考えたことを提出させる。

6 研究の概要

(1) 税に関する事前調査（1年4組 28名）

〈納めた税金は、何に使われているのか。具体的に書いてください。〉

- ・ コロナになった時に届く食べ物が入ったセット
- ・ 公園など、町に必要な物に使われている
- ・ 道路を作るのに使われている。
- ・ 国民や市民のために使われている。
- ・ 国の運営のため
- ・ 生活を守るため
- ・ 公共の施設
- ・ 教科書や学校の備品
- ・ 救急車・消防車
- ・ 自衛隊の装備
- ・ 年金や生活保護
- ・ 国民が幸せに生活していくために使われている
- ・ 公務員の給料
- ・ 災害時の仮設住宅
- ・ 病院
- ・ 税金は、国民が住みやすく安全に過ごすために使われている。
- ・ 人々が生活に困らないように使われている。

生徒は、中学校の税に関する授業の開始前ということもあり、税の使い道を決める組織等について理解している生徒は少ない。しかし、小学校からの学習の積み重ねで、授業中に税金の種類について即答できる生徒もいた。また、税金の用途について、私たちの生活に生かされていることを理解している生徒も複数人いることが分かった。特に、学校の備品等が税金でそろえられていると回答する生徒が多く、自身の生活に活用されていることを実感している。以上のことから、古代の税制度は現代の税制度のように人々の生活の支えになっているのか、何に使われているのかなどの疑問につなげることができると考えた。

(2) 実践授業（別紙参照）

(3) 税に関する事後調査 (1年4組 29名)

〈古代と現代の税制度を比較して気付いたこと・分かったこと〉

- ・昔と今の租税制度を比べると、お金じゃなかったり物だったりしていた。
- ・今は税金が必要だと生活の中で感じるが、昔の人は必要だと感じていたのか気になる。
- ・古代の人々も今と同様に税を納めるために頑張っていた。
- ・今は人々の生活を守るために税を集めているが、昔は国や天皇のために兵役などを行っていた。
- ・なぜ今はものではなく、お金を集めているか不思議だった。
- ・古代と現代で税金のシステムが変化しているから、今後も変化するのかもしれない。
- ・古代の税制度は現代と異なって管理がゆるかった。
- ・古代の税制度も一応、人々のためになっているのかも。
- ・奈良時代の税も今の税も生活する上で必要なものと感じた。
- ・昔はお金がなかったから、日常的に使えるものを税として納めていた。
- ・税金の使い道が古代は貴族のために使われ不平等だったが、現代は国民全員が平等に使われている。

授業の導入の際、古代の税制度が労働や布などの現金以外で納めることに気付いた生徒が多く、現金以外での納税は生徒にとって興味を引くものとなった。また、授業のまとめの際には、古代の税制度が国家の運営や天皇制の維持に必要なことにも触れている生徒がいた。そのため、負担という視点だけではなく、それぞれの時代の税制度の必要性についても比較しながら考えることができた。

その授業のまとめを踏まえ、事後調査を行った。古代の税制度に対して、否定的な意見はあったものの現代と同様に必要性を感じている意見があった。また、なぜ現代の納税方法は現金なのか、今後も租税制度は変化するのかもしれない。といった現代の税制度についての疑問や予想なども見られた。そのため、税制度の比較によって、古代の税制度の理解がより深まり、それに伴い現代の税制度に対する興味・関心が高まったといえる。

7 研究の成果と課題

(1) 成果

- ・古代の税制度の必要性を考察し、古代と現代の税制度を比較することで、古代の税制度への理解を深めるだけでなく、現代の税制度について関心を持ち、主体的に学ぼうとする姿勢を育成することができた。
- ・古代の税制度について考察する発問を行ったことで、税の負担が大きいという視点だけでなく、税の必要性について考えさせることができた。
- ・授業の導入時や事前調査で現代の税制度について振り返ることができていたため、古代の税制度が人々の生活や国家の運営といった視点から必要であることを考えることができた。
- ・ロイロノートで授業のまとめを行った後に、生徒間でそのまとめを共有した。そのため、授業の内容の理解が深まっただけでなく、古代の税制度に対する考えをより深めることができた。

(2) 課題

- ・古代の税制度の必要性について班ごとに考察する際、話題が多岐にわたり、考察の視点が散漫になってしまった。そのため、考察を行う際には1種類のみ税の話題に限定させるなどの工夫が必要だった。古代の税制度の中で、防人や雑徭などの必要性に気づくことができた生徒は多かったが、租庸調についての必要性を考察した生徒が少なかった。そのため、より限定的な視点から必要性を考察できるよう、話題を限定する工夫が必要だった。
- ・生徒の主体性を生かした授業を計画することができなかった。事後調査では、今後の税制度について予想する意見や現金で納めることへの疑問などが挙げられ、現代の税制度への関心が高まったことが見取ることができた。そのため、現代の税制度について主体的に調べる時間を設けることで、現代の税制度にもより理解を深めることができる機会が必要だったと考える。

社会科学習指導案

令和5年9月22日(金)5校時
指導学級 1年4組 教室
指導者 教諭 高橋 尚子

1 単元名 古代国家の歩みと東アジア**2 単元の目標**

- (1) 律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。

【知識及び技能】

- (2) 東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、律令国家の形成、古代の文化と東アジアとの関わりについて、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。

【思考力、判断力、表現力等】

- (3) 律令国家の形成、古代の文化と東アジアとの関わりについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

【学びに向かう力、人間性等】

3 単元について**(1) 単元観**

本単元は、中学校指導要領 B (1) に基づいて設定されたものである。

本単元では、この時期の我が国において、特に東アジアと深い関わりを持ちながら、狩猟・採集を行っていた人々が栽培を取り入れ、やがて大陸から本格的な農耕を急速に手に入れた後、農耕の広まりによる生活の変化、国家の形成と発展、天皇・貴族による政治の展開、文化の発展などの動きを学習する。特に「東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化」における、中国をはじめとする東アジアとの交流における影響は現代日本にも大きいものがある。例えば、漢字の常用や仏教への信仰などが挙げられる。そのため、日本の文化にどのような影響を与えたのかといった課題を社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせて、その課題について多面的・多角的に考察、表現する。その取り組みが中学校3年間の社会科学習のみならず、グローバル化する国際社会を生きる生徒にとって必要な資質・能力の育成に繋がると考える。

また、本時の授業においては、中学校指導要領(2)(イ)「財政及び租税の役割について」の学習の足がかりとする。古代日本の大陸から伝わった税制度の理解と抱える諸問題などに関する理解を基に考察し、国民の生活と租税の役割の関係について関心を高め、課題を意欲的に追究する態度を育成することを主な狙いとする。

(2) 生徒観

班活動に対し積極的な生徒が多く、課題に対する考えや解答を班員で協力し導き出すことができる。一方で、暗記を苦手とする理由で歴史分野に苦手意識を持っている。そのため、班活動やペアワークによる生徒同士の意見交流の中で、既習事項の復習や知識の定着を図る必要がある。

(3) 指導観

中国をはじめとする東アジアとの交流における影響は現代日本にも大きいものがある。そのため、本単元では、日本の文化にどのような影響を与えたのかといった課題を社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察、表現することが求められる。そのため、本単元でも班活動やペアワークなどの意見交流の活動の時間を設ける。以下の3つの活動を意見交流の活動とする。

- ①自ら考え、自分の意見を持つ。
- ②その考えを他の生徒と交流する。
- ③他者の意見から新たな気づきを得ることで、理解をより深めることができる。

この3つの活動を通すことで、多面的・多角的な考察を行うことができ、また、歴史分野に苦手意識を持つ生徒も既習事項の復習を話し合いの中で行いながら知識の定着をより確実にすることができる。

4 校内研究との関連

〈研究主題〉 『確かな学びを実感できる指導の工夫』 ～協働できる生徒の育成～
〈研究目標〉 各教科の授業でのねらいの達成に向けて、協働する場面や内容を意図的に設定することで、自らの思考をより深め、確かな学びを実感できるような生徒を育成する指導の在り方を追究する。 【視点1】生徒と生徒の協働：班活動やペアワークなど意見共有の活動 【視点2】生徒と教師の協働：生徒の理解や考えが深まる問いの投げかけ

(1) 教科で目指す生徒像

- ・自分の考えを表現し、他者との交流を通して考えを深めようとする生徒
- ・自らの気づきを共有することで、クラス全体でより深い学びを実現しようとする生徒

(2) 教科における「確かな学び」の捉え方

- ・他者と自分の考え方を交流させながら、新たな考え方を獲得し、より深い学びを実現させる。
- ・現在の自分たちの生活と過去の日本との繋がりを理解し、学んだことを多面的・多角的に考察し、表現することができる。

5 単元の評価基準

評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	①律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが	①東アジアと接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、律令国家の形成、古代の文化と東アジアとの関わりについて、古代	①律令国家の形成、古代の文化と東アジアとの関わりについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

<p>整えられたことを理解している。</p> <p>②仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解している。</p>	<p>の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	
--	--------------------------------------	--

6 指導と評価の計画（9時間扱い 本時4/9）

次	時	ねらい・学習活動	重点	記録	備考
	1	聖徳太子や蘇我氏が行った政治の特色を理解し、隋との関係に着目して、その影響を受けたことを考察、表現している。	知 思	○	思①：ノート
	2	律令国家を目指す国内の情勢を、中国や朝鮮半島の動きに関連付けて考察し、表現している。	技 思	○	技②：ノート 思①：ノート
	3	律令制度による古代国家の仕組みを理解し、中国の影響と関連付けて考察し、表現している。	知 思	○	知①：ノート 思①：ノート
	4	奈良時代の人々の生活について理解し、税や土地制度の変化と関連付けて考察し、表現している。	知 思	○	知①：ノート 思①：タブレット
	5	天平文化が国際色豊かな文化であることを理解し、遣唐使により大陸からの文物が多くもたらされたことと関連付けて考察し、表現している。	技 思	○	技②：ノート 思①：ノート
	6	桓武天皇の行った政治の目的、内容などについて理解している。	知		知②：ノート
	7	10世紀に、摂関政治や土地制度など政治の在り方が変化したことを理解している。	知		知①：ノート
	8	国風文化の特色を理解し、形成について大陸の影響に着目して考察し、表現している。	知 思	○	知②：ノート 思①：ノート
	9	古代の日本でどのように国家形成されたかを、東アジアとの関わりと関連付けて考察し、表現している。また、古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	知 思 主	○ ○ ○	知①②：プリント 思①：プリント 主①：行動観察 プリント

7 本時の指導（4/9時間）

（1）題材名 4. 奈良時代の人々の暮らし

（2）本時の目標

- ① 奈良時代の人々が様々な税を負担していたことを理解できる。 【知識・理解】
- ② 奈良時代の人々の生活を税制度の変化と関連付け表現できる。 【思考・判断・表現】

(3) 指導にあたって

①視点について

【視点1】生徒と生徒の協働

本時における確かな学びとは、当時の税制度の負担だけでなく、国家を運営するための必要性にまで意見交流を通して見いだすことができることと考える。本時の班活動では、教師から投げかける発問から、自ら考え他者と意見を共有する時間を確保することで、より深い学びを実現し生徒間での協働を実現させる。

【視点2】生徒と教師の協働

本時では、税制度の必要性にまで考えを深めさせたい。そのため、生徒の理解や考えが深まる問いの投げかけとして、授業の中盤に発問を生徒に投げかける。その発問を通して、奈良時代の税制度の負担が重いという事実だけでなく、現代の税制度のように国家の運営のために必要だということにまで考えさせる。

(4) 指導過程 (別紙)

(5) 評価

評価の観点	具体敵な評価基準 (B)	十分満足できると判断する具体的な姿 (A)	努力を要する生徒への具体的な支援 (C)
知識・技能	奈良時代の人々が負担していた様々な税を理解することができる。	奈良時代の様々な税についての仕組み、負担や必要性を理解することができる。	奈良時代の人々が負担していた様々な税を教科書や資料集を用いて確認させる。
思考・判断・表現	奈良時代の人々の生活について、税制度や土地制度と関連付けそれぞれ表現することができる。	奈良時代の人々の生活について、税や土地制度の変化と関連付け、必要性にまで触れて表現することができる。	班活動によって、生徒の考えを共有することで、苦手な生徒も思考のきっかけを得ることができるよう支援する。

(6) 準備物 ①生徒：教科書・資料集・ノート・タブレット

②教師：教科書・資料集・ノート・タブレット

(7) 板書計画 (別紙)

(4) 指導過程

段階 (時間)	学習活動 ・予想される生徒の反応	形態	指導上の留意点・支援	評価と方法
5分	<p>1. 税金の役割を確認する。</p> <p>2. 奈良時代の租庸調と防人や雑徭、義倉のイラストを見せ、今の租税制度との違いを考えさせる。</p> <p>●生徒の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金じゃない ・特産品ってなんだ ・布ってどうやって作るの ・これ全部って大変そう ・この米って何に使われているのか。 <p>3. 本時の目標を理解する。</p>	一斉	<p>・消費税があることで、自身の生活に恩恵があり必要なことを確認する。</p> <p>・税金はどのような制度だったか。また、誰のための制度だったかを問う。</p> <p>・この奈良時代の税制度は、どんな制度だったのか問う。</p>	
目標：奈良時代の租制度の特徴を説明できる。				
展開 10分	4. 口分田で米を育てていることや、賤民・良民で戸籍を登録されていることなど当時の税制度を理解させる。		・資料集のイラストを見せながら説明する。	【知】 ・ノート
5分	<p>5. 教科書の貴族と民衆の生活の比較写真を見て、なぜ生活に差が出るのか考えさせる。</p> <p>●生徒の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身分が存在する ・良民と賤民があるから ・京都に住んでいるが、租税の食べ物を食べているのではないか？ ・ご飯も自分で育ててないが、庶民から集めたものを食べているのでは？ <p>●生徒の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・違うのではないか。 ・防人とかあるから違うのでは？ 	ペア ア ↓ 一 斉	<p>・身分制度があることに気付かせる。</p> <p>・貴族の食事や衣服を民衆が負担していることに気付かせる。</p> <p>・人々の負担が大きいことに気付かせる。</p> <p>・この制度は人々を苦しめるための制度かどうか問いかける。</p>	

		発問：この制度はなぜ必要だったのだろうか。 【視点2】	
3分	6. 個人で考える。	個人	
7分	7. 班活動を通し、発問に対する考えを共有しまとめる。 【視点1】 ●生徒の考え ・貴族のための部分も大きい、防人など国全体のためになる税が存在するため、国を守るために税制度が存在するのではないか。 ・負担は大きいが凶作に備えているなど、人々のための税制度になっている。 ・唐の国をまねしているから、負担は重い、唐の国と同じくらい強くなるためにこの制度が必要だった。	班	・資料集を基に考えさせる。その際、机間指導を行い、難しい生徒には参考にする資料を特定して提示する。 ・班活動において、意見を共有できるように自分の考えを持って活動に取り組ませる。
5分	8. ロイロノートに班の意見を投影し、意見発表を行う。 ●生徒の反応 ・払いたくない ・逃げる ●生徒の反応 ・いっぱい作る ・田んぼを増やす	一斉	・ロイロノートを活用し、班ごとの解答を黒板に投影させクラス全員で共有する。 ・国の運営に必要という要素と個人の負担が重いという要素があることを伝える。 ・負担が重い税を良民・賤民が支払いたいと思うか問いかける。 ・国の運営のために税が必要であることを再確認させる。 ・租を払わせるための方法を問いかける。

10分	9. 生徒からの反応を踏まえ、墾田永年私財法と荘園について整理させる。		・大化の改新で学習した公地公民が、崩壊することで、貴族中心の世の中に近づいたことに気付かせる。	【知】 ・ノート
終結 5分	10. 本日のまとめをロイロノートに記入し提出させる。	一 斉	・学習課題に対しての自分なりの考えを書かせる。その際、奈良時代の税制度の必要性にまでまとめられるように、こちらから問いかける。	【思】 ・タブレット

(7) 板書計画

4. 奈良時代の人々の暮らし

目標：奈良時代の税制度の特徴を説明する。

<p>〈税制度〉</p> <p>租：稲</p> <p>調・庸：布や特産物など</p> <p>〈身分〉</p> <p>賤民・良民</p> <p>口分田</p> <p>(6歳以上男女)</p>	<p>班田収授法</p> <p>〈土地の変化〉</p> <p>743年</p> <p>墾田永年私財法</p> <p>→荘園の形成</p> <p>公地公民性の崩壊へ</p>	<p>班ごとの考えを投影する</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> </tr> <tr> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> </tr> <tr> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> </tr> </table>	<input type="text"/>					
<input type="text"/>	<input type="text"/>							
<input type="text"/>	<input type="text"/>							
<input type="text"/>	<input type="text"/>							

理由：

使用プリント



授業のまとめ

奈良時代の人々の暮らし(2)

目標：奈良時代の税制度の特徴を説明できる

奈良時代の身分は、大きく分けると、貴族、良民、賤民の三つに分けられます。良民、賤民などの民衆は租庸調や兵役などの税を負担し、その税は、唐や新羅の使節から国を守る太宰府の防人などに使われていました。その重い税の負担から逃れるためこの時期から、もう、逃亡する人々も現れていました。



土地を分け与えて納められる租を増やすための口分田という制度が、あまり強まらなかったため、民衆が農耕を行った時の利益を増やすために、墾田永年私財法がとられ、天皇の土地が民衆の私有地に変わっていきましました。天皇の土地で亡くなった民衆の私有地を貴族などが買い取ったりして、貴族の私有地を広げていきました。その影響で、貴族のみは強まり天皇中心の国家はくずれていき、公地公民の制度は失われていきました。

つまり、重い税の負担を強いられ苦しんでいた民衆は、墾田永年私財法によって農耕による利益が増えた。しかし、貴族がその土地を買い取ったことで、天皇中心の政治や公地公民の制度はくずれていった。

このように、奈良時代の税は国のために使われていたが、その時代の次第によってその税の負担は重いものだったと考えられます。

目標奈良時代の税制度の特徴について説明できる。
良民や賤民に口分田（天皇の土地）
税農民を苦しめるためのものではなく、国の運営のため
墾田永年私財法
自分で土地を耕せば一生自分の土地
→貴族や寺院が土地を買い占め
公地公民や天皇中心の政治がなくなってきた。

奈良時代の人々の暮らし まとめ

この頃は貴族、良民、賤民の身分があり、口分田が与えられた（班田収授法）
人々が集めた税は貴族に使われ、貴族のご飯などは豪華なのに比べて、庶民のご飯は少なく、豪華ではなかった。そのため、人々は税を納めるのがすごく大変だった。
でも税がないと、国に利益がないし、兵役がないと国を守ることができなくなってしまうため、税は国に必要だった。
また、墾田永年私財法という「土地は租を納めればいつでも自分のものにしてよい」ことになった。
この頃からだんだん天皇中心から貴族中心になっていった。

奈良時代の税は、租や義倉は食料の備蓄にするために、兵役は国を守るために必要だったが、出さない人が増えたため、租をたくさん出してもらおうように土地制度を墾田永年私財の法を出した結果力の強い貴族や寺院が土地を買取、荘園にしたため、公地公民や天皇中心の制度が崩れた。

令和5年度 租税教育に関する研究発表要項

亘理町立吉田小学校

教諭 川田 真

1 研究主題

税への興味・関心を高め、税金の必要性や重要性を実感するための指導の工夫
～自分でテーマを設定し、調べ、伝え合う活動を通して～

2 主題設定の理由

納税は、日本国民の三大義務の一つであり、社会が成り立つために必要不可欠なものである。税金は、安全を守る警察・消防や、道路・水道の整備といった「国民のために役立つ活動」や、年金・医療・福祉・教育など「社会での助け合いのための活動」に使われ、児童にとっても学校生活や日常生活の様々な場面で関わりがある。

児童は、社会科の学習で税金については既習済みである。しかし、取り扱う時数が少ないため税に対する知識を深めるまでには至っていない。

そこで、税金について児童自らテーマを設定して調べ、それを伝え合うことで税金に対する興味・関心を高めさせ、更に税金の意義や役割について正しい知識を身に付けることで、税金の必要性や重要性に気付かせることができると考え、本主題を設定した。

3 研究目標

税に対する興味・関心を高め、税金の必要性や重要性を実感するための指導のあり方を探る。

4 研究の方法

- (1) 社会の学習を通して、税金の基礎を理解させる。
- (2) 租税教室を通し、税金に対する興味・関心を高めさせると共に、税金の意義や役割を理解させる。
- (3) 租税教室で学んだことをもとに、児童に調べ学習のテーマを設定させる。
- (4) 各自のテーマを解決するために、インターネット等を活用して調べさせる。
- (5) 発表会を通して互いの考えを共有することで、税金の必要性や重要性に気付かせる。

5 研究計画

令和5年 4月	税金について (社会科・3時間)
6月	租税教室 テーマ設定 (総合・2時間)
8～9月	調べ学習・まとめ・発表会 (総合・6時間)

6 指導計画

段 階	主な学習活動
税金について知ろう	○社会の学習で、税について学ぶ。 ①わたしたちのくらしと日本国憲法 ②国の政治のしくみと選挙 ③震災復興の願いを実現する政治 ○租税教室
テーマについて調べよう	○自分のテーマに沿って、調べ学習を進める。 ○調べたことをまとめ、プレゼンの準備をする。
調べたことを伝えよう	○発表会を行い、調べたことを伝え合う。

7 研究の概要

(1) 税金について知ろう

社会科の学習を通して、税金について学んだ。国民の三大義務の一つとして『税金を納める義務』があることを知った。具体的な税の名前として「消費税」「所得税」「自動車税」「入湯税」等、児童の発言があった。その他にもたくさんの税があることを資料を活用して確認した。

また、集められた税金が、公共的な事業に使われると共に、身近な生活の中にたくさん使われていることを知った。

このような学習を通して、税金に対する基礎的な知識を身に付けた。

次に租税教室を開催した。講師の先生に来校していただき、税金について分かりやすく教えていただいた。DVDを観たり、クイズに答えたり、1億円のレプリカを持たせてもらったりしながら楽しく活動することができた。また、DVDを視聴し、税金が無かったらどうなるのかを知ることで、税金の必要性や重要性を考えるきっかけになった。



(2) テーマについて調べよう・調べたことを伝えよう

社会の学習と租税教室を通して、疑問に思ったこと、もっと詳しく知りたいこと等から自分のテーマを設定した。

世界にある変わってる税

税金の使い道
医療費や警察・消防費について

税金の様々な使い道について

世界にしかない税金と日本にしか
ない税金を調べる

次にテーマに沿って調べ学習を実施した。社会の教科書や資料集、パンフレット等と並行でタブレットを活用しインターネットで調べる姿が見られた。インターネットで調べたことは、データで保存し、まとめに活用できるようにした。

今回は、Keynoteを活用してプレゼンの資料を作成することとした。作成後、発表会を実施した。また、作成したものはロイロノートに書き出し、提出させた。データを共有することで発表会以外でも友達の考えを知ることができた。



〈子どもたちのプレゼン資料〉

税金の使い道

(医療関係、警察、消防、ゴミ処理)

税 英 昂

医療関係について

- 病気になったとき、かかった1部には税金がかかる。
- 介護の時も、かかった1部に税金がかかる。



～メッセージ～

みなさんも税金を払って、少しでも暮らしを良くしましょう!

～このテーマを選んだ理由～

警察など、どんなことに税金が使われているのかが気になったから。



ゴミ処理について

～ゴミ処理にかかるお金～

- 国民1人あたり1日約40円、年間14000円
- 全国のごみ処理費用 総額2兆4,886億円



警察、消防について

- 消防車や救急車は原則的に無料
- 警察や消防の活動にも税金が使われている (警察官の制服、防火服など)
- 働く人のお給料も税金



～調べて分かったこと・感じたこと～

分かったこと

- たくさんのお金に税金が使われている。
- 働いている人のお給料も税金。

感じたこと

- 税金がなくなったら大変そうだなと思った。

税金の使い道

DT 42

どんなことに②

- ・警察署
- ・消防署
- ・学校
- その他



税金がなかったら

- ・警察がない
- ・火災を消せない
- ・触電ができな
- ・救急車が来ない
- その他



このテーマにした理由

税金の使い道を知りたい
どんなところに使われている

どんなことに③

小学校編

- ・体育館
- ・プール
- ・黒板
- ・ボール
- ・その他



わかったこと

とても税金は大切。
もし、税金がなくなったら
安全で安心な国を保つには難しい

どんなところに①

- ・税金はみんなが使う公共のため

こうした想念は

税金の使い道は会議で話し合っている

1年間で使われる税金

小学生	一人当たり84万8000円
中学生	一人当たり97万9000円
高校生	一人当たり91万3000円

メッセージ

どんなところに税金が使われているかみて見ると税金の大切が改めて知れると思います。

税金についてと税金の中のガソリン税と入湯税について



- ・ 福祉と保健: 29.3%
- ・ 教育と文化: 20.2%
- ・ 警察と消防: 15.6%
- ・ 都市の整備: 14.5%
- ・ 労働と経済: 9.9%
- ・ 企画・税務: 6.8%
- ・ 生活福祉: 4.8%



ちなみに少子高齢化が進むと...
税金にも影響があるよ！

調べてわかったことや、感じたこと

メッセージ

世界にある聞いたことのない税

なぜ調べようと思ったか

日本 入湯税

- ・ 1人1日150円が標準税率とされている
- ・ 使い道は健康促進施設、温泉保養施設の整備などに使われる

ヨーロッパではポテトチップス税

- ・ フランスはポテトチップス税を課税し、税率は20%
- ・ イタリアはポテトチップス税を課税し、税率は10%
- ・ 英国はポテトチップス税を課税し、税率は5%

アメリカ ソーダ税と米のおもち税

- ・ アメリカはソーダ税を課税し、税率は2%
- ・ 米のおもち税は、米のおもちを課税し、税率は1%

過去にあった税

ヨーロッパ 窓税

- ・ 窓税は、窓の数を課税し、税率は1%
- ・ 窓税は、窓の面積を課税し、税率は1%
- ・ 窓税は、窓の大きさを課税し、税率は1%

調べてわかったこと

これで発表を終わります。

〈発表会後の感想〉

たくさんの種類の税金があったり、たくさんの方に税金が使われていたり、もっといろんな税金について調べてみたいと思いました。身近なところでも探してみたいなと思いました。

分かったこと

税金は、いろんなことに使われていて、税金がないと有料などになり大変になることが分かりました

思ったこと (感想)

税金の大切さなどが分かりました！払わないと自分も大変になるし、いろんな人にも迷惑をかけてしまうことが分かったので、これからも税金を払おうと思いました！

世界には、日本よりも消費税高い国がいっぱいあることがわかりました。世界には、変なことで税金をとっている国があった。

日本にも導入した方がいいと思う税があった。

税金は色々な種類があったり面白い税金がなどがあったり、また税金の数がいっぱいあってすごいと思いました。

一人当たり小学校で使われる税金は約80万円です。とても高くびっくりしました。それに改めて税金の大切さを知れてとても良かったです。

・分かったこと

介護などにも税金が使われていること。世界にも日本にも面白い税がたくさんあること。

・感じたこと

自分が思ってる以上に税金がいろんなことに使われてる。

分かったことは名前だけだとふざけてるようだけど内容はしっかりしているのが多かったです。これからもこのような税金について理解してくれる人が増えたらいいなと思いました。

世界でもいろいろな税金があったので面白かったです。税金の使われ方や面白い税金の種類を調べた人がたくさんいたけどみんなのまとめ方が違って面白かったです。

8 成果と課題

(1) 成果

- 『授業→租税教室→調べ学習』のサイクルで学習を進めたことで、児童の税に対する理解が深まり、税金の必要性や重要性に気付くことができた。
- テーマ追求型の調べ学習にしたことで、最後まで興味・関心を持って活動を進めることができた。
- 互いのプレゼンを聞くことで、税に関する知識を広めることができた。

(2) 課題

- 時数確保が難しい。社会の3時間は、年間のカリキュラムで位置付けられているが、租税教室と調べ学習の時数をどのように調整すればいいのか、課題が残る。
- 本校のカリキュラムを見直したが、今後も継続できるかどうかは見通しが持ちにくい。

1 研究主題

租税についての関心を高め、税金を身近に感じる児童の育成
～学校生活と税との関連を調べ、解決する学習を通して～

2 主題設定の理由

租税の役割について、学習指導要領では、「租税が国や県、市によって行われている対策や事業などの費用として使われていること、それらは主に国民によって納められた税金であることなどを理解できるようにする」とある。児童は、「税金」という言葉を知っているが、税金とは何か、使い道や自分たちの生活にどのように関わっているかなどについては理解していない。また、児童にとって身近な消費税に対しても品物代としてお金をより支払っているという抵抗感を抱いている児童も少なくない。

そこで、学校生活と税金との関連を調べ、自分たちの学校生活の中に使われていることを知ることにより税金を身近に感じ、正しい知識を身に付けることが未来の納税者としての第一歩であると考え、本主題を設定した。

3 研究目標

学校生活と税金との関連を調べ、解決する学習を通して、租税について関心を高め、税金が身近なものであり、私たちの生活にとって欠かせないものであると実感できる授業の在り方を明らかにする。

4 研究方法

- (1) 5年時に学習の導入として、第1回租税教室を行う。
- (2) 税金に関する意識調査を行う。
- (3) 「国の政治のしくみと選挙」「子育て支援の願いを実現する政治」の学習を通して、税金の基礎を理解させる。
- (4) 地域社会の中の税について調べ、関心を高めるとともに課題設定の視点を増やす。
- (5) 学校生活の中で児童自らが疑問に思ったことや関心のあるものと税金との関連を捉え、課題設定し、調べさせる。
- (6) 第2回租税教室を行い、租税について理解をより深めるとともに、税務課の方から児童の調べ学習のアドバイスをいただく。
- (7) 調べたことをスライドにまとめ、発表させる。
- (8) 税金に関する意識調査を行い、学習前と比較し、税金に対する見方や考え方の変容を見取る。

5 研究計画

学年	月	学習内容
令和4年度	1月27日	・第1回租税教室。
令和5年度	6月～8月 10月	・事前意識調査 ・授業実践 ・事後意識調査 ・研究のまとめ

6 研究の概要

(1) 指導計画 (全12時間 社会科 11時間 図画工作科 1時間)

学年	次	学習内容	時数
5年	1	・第1回租税教室。	1
6年	2	「国の政治のしくみと選挙」	1
		・「選挙のしくみと税金の働き」について学習する。	
		「子育て支援の願いを実現する政治」	
3	課題別グループ学習	・「税金の働き」について学習する。	1
		・身の回りの税について調べる。	1
		・学校生活と税金との関連を捉え、課題設定を行う。	1
		・課題について調べ活動に取り組む。	2
		・第2回租税教室。	1
		・調べたことをスライドにまとめる。	2
・発表会をする。	1		
・事後活動	1		

(2) 【第1次】 5学年時租税教室 (令和5年1月27日)

仙台南税務署の方々に来ていただき、スライドやDVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を使いながら税金とは何か、どんなことに使われているのかなど基礎的な税金の役割について教えていただいた。また、1億円のレプリカを持たせていただき、お金の大切さを重みで実感することができた。



《租税教室後の児童の感想》

- ・税金があるのとないのとでは、こんなにも生活が変わるのだと気付きました。
- ・税金がないと公園や道路とかが壊れても直すことができないことが分かりました。
- ・私が払っている何十円が国のために使われているのは、びっくりしました。
- ・税金のことをしっかり覚えて、上手にお金を使える人になりたい。

(3) 【第2次】 6学年時

①税に関する事前調査（令和5年度 6年1組24名 6月中旬実施）

<p>1 税金にはどのような種類のものがありますか。（複数回答可）</p> <ul style="list-style-type: none">・消費税（19名） ・所得税（5名） ・住民税（1名） ・相続税（1名）・分からない（3名） <p>2 税金はどのようなことに使われていますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・建物を建てるお金（5名） ・学校の物（6名 教科書を含む）・国や町、市のため（3名） ・公園（2名） ・道路の工事（2名）・災害復興（1名） ・交番（1名） ・消防署（1名） ・町役場（1名）・ゴミ処理場（1名） ・社会をより良くするため（1名） <p>3 税金は必要だと思いますか。</p> <p>○はい 23名 （主な理由）</p> <ul style="list-style-type: none">・暮らしが大変なことになってしまうから。・去年見たアニメのように散々な目にあってしまうから。・町がボロボロになってしまう。・壊れた橋，壊れた道路とか子供が好きな公園を作れないから。・火事が起こった時にお金がかかる。教科書もお金がかかる。・公園などに行くときにお金が取られるから。・社会をより良くするには必要だと思ったから。・ゴミ処理場が機能しなくなって町がゴミだらけになるから。 <p>○いいえ1名</p> <ul style="list-style-type: none">・お金を多く取られるから。 <p>4 税金はどのようなイメージですか。</p> <p>（主な意見）</p> <ul style="list-style-type: none">・暮らしを支えているもの（8名） ・お金を取られるもの（5名）・全員が払わなければならないもの（2名）	<p>● はい ● いいえ</p> <p>95.8%</p>
--	------------------------------------

上記の結果から，5学年時に租税教育の授業を受けていることもあり，税金が私たちの生活のために使われているものであり，重要であることを理解している。

一方で，税金の種類についてはまだ分からない実態であり，税金に必要性を感じつつもお金を多く払っているというマイナスな捉えを持っていることが分かった。

そこで，児童にとって身近な学校にある学習用具や施設と税金との関連について調べ，学校生活の具体的な場面で税金が役立っていることに気付かせることが必要であると考えた。

②身の回りの税金について調べる。(4/12時)

「国の政治のしくみと選挙」「子育て支援の願いを実現する政治」(東京書籍「新しい社会」)の単元では、児童センターの建設には税金が使われていること、税金の集められ方や使われ方について理解した。

本時では、小学校社会科用学習資料「わたしたちの暮らしと税金」を使って、税金にはたくさんの種類があることを理解し、インターネットを使って興味のある税金についてどのような税金なのか、誰が納めるものか調べた。特に児童が興味・関心を示したのが、とん税、入湯税、たばこ税、ゴルフ場利用税などである。児童が楽しみながら税金の種類について理解することができた。

(4)【第3次】6学年時

①学校生活と税金との関連を捉え、課題設定を行う。(5/12時)

小学校社会科用学習資料「わたしたちの暮らしと税金」を使用し、学校で使われている税金について調べた。その後、実際に学校を回り、税金で賄われている物とそうでない物を整理し、ワークシートにまとめた。児童の中には、筆記用具や漢字スキルには税金が使われていると判断していたが、区別していく中で、筆記用具や漢字スキルは保護者が直接購入している物であることに気づき、税金が使われている物ではないと理解するなど、税金の理解が深まる様子が見られた。

整理していく中で、より詳しく調べたいことを見つけ出し、課題を設定した。

②課題について調べ活動に取り組む。(6, 7/12時)

同じ課題や類似している課題を持った友達とグループをつくり、話し合い、調べる内容や調べ方、役割分担を決めた。児童から挙げられたテーマは6つである。「遊具と税金」「ICTと税金」「身の回りの物と税金」「図書と税金」「電気と水と税金」「楽器と税金」。グループごとに学校内を調査したり、事務や図書室の先生に質問したりして情報収集に励んだ。調べても分からないことや調べた中で生まれた疑問点については第2回租税教室での質問とすることにした。

《調べ活動の様子》



③第2回租税教室（8/12時 令和5年7月5日）

山元町役場税務課の方に来ていただき、税金についてさらに詳しく教えていただいた。小学生用租税教育教材「わたしたちの暮らしと税」《資料1》を活用し、税金の使われ方や使い道の決め方など税金の基本的なことを丁寧に教えていただいた。また、山元町の税金の収支《資料2》や、つばめの杜公園の建設費用など、より児童の生活に近い観点から教えていただき、理解することができた。

後半には、児童の課題に対する質問にも答えていただき、児童の課題解決の一助となった。

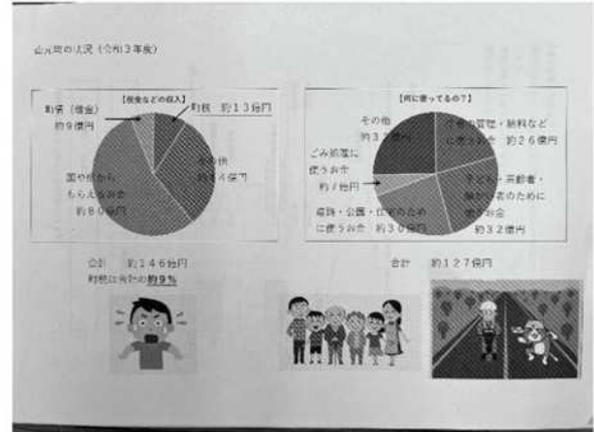
《資料1》



《租税教室の様子》



《資料2》



④調べたことをスライドにまとめる。（9、10/12時）

発表会に向けて、調べたことをタブレット端末を用いてスライドにまとめた。クイズを入れたり、強調したい文字に色を付けたり、挿絵を入れたり、発表を聞く人の分かりやすさを意識した資料作成を行った。そのこともあり、自分たちが調べた学校生活と税金との関わりをより実感することができた。「他のグループのテーマも調べてみたい」「学校生活と税金との関わりが分かった」という感想が児童から挙げられた。

《スライド作りの様子》



⑤発表会をする。(11/12時)

自分たちの課題について調べ、分かったことをまとめ、発表した。他グループの発表を聞く中で、自分のテーマ以外での学校にある物と税金の関わりを考える機会となり、より理解が深まった。児童の感想からは、「学校にある多くの物にこんなにも税金が使われているのだと知った。」「税金の大切さを改めて知った。」という感想が多くあった。

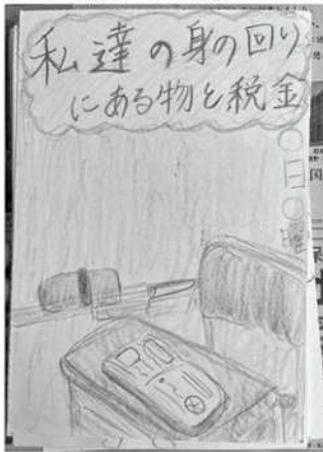
《発表会の様子》



⑥事後活動 (税に関する絵はがきコンクール 12/12時)

税に関して学んだことを活かし、「税に関する絵はがきコンクール」へ応募した。学習を生かした作品を作成する児童が多く、学習したことを振り返るよい機会となった。

《児童の作品》



(5) その他

①スライドの掲示

他学年にも税についての関心を高めてもらうため、校内に児童が作成し、発表したスライドを印刷したものを校舎内に掲示した。

《児童が作成したスライド》

 <p>電気と水と税金</p>	<p>テーマ設定の理由</p> <p>電気代と水道代が値上がりしているので値段が気になったから</p>	<p>調査したもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エアコンの台数 ・ エアコン1台の値段 ・ 25mプールの体積 ・ 小プールの体積
<p>調査したもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水1Lの値段 ・ 1日に使う水の量と値段 ・ 1日に使う電気代 	<p>調査方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務の先生への質問 ・ 各教室への調査 ・ 租税教室の先生への質問 	<p>調べて分かったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1日の電気代は5,000～6,000円 ・ 水1Lで約0.34円 ・ 1日で水3100L使い、1,000円 ・ エアコン1台40～50万円 ・ 小プール約7万L ・ 大プール約25万L
<p>クイズ!!</p> <p>山小のエアコンは何台あるでしょう??</p> <p>①14台 ②17台 ③21台</p>	<p>クイズ!!</p> <p>25mプールの建設費用はいくらでしょう</p> <p>①1億円 ②1億5000万円 ③3億円</p>	<p>感想など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一つ一つの値段が学校だと規模が大きくて驚きました。 ・ 一年間水を使い続けるととんでもない額になることがわかった。 ・ 税金がないと、大変なんだと改めて実感しました。

②懇談会での紹介

児童が税への関心を高めて作成したことを知ってもらうと同時に、家庭でも税について話題にさせていただくため、学級懇談会にて、児童の作成したスライドを保護者に紹介した。

(6) 事後調査 (令和5年度 6年1組25名 7月20日実施)

1 税金にはどのような種類のものがありますか。(複数回答可)

- ・消費税(19名) ・とん税(16名) ・たばこ税(14名)
- ・所得税(11名) ・入湯税(5名) ・酒税(5名) ・住民税(4名)
- ・ゴルフ場利用税(4名) ・印紙税(3名) ・自動車税(3名)
- ・相続税(1名) ・相続税(1名) ・贈与税(1名) ・固定資産税(1名)

2 税金はどのようなことに使われていますか。

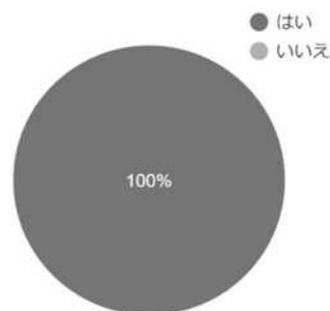
- ・学校の物(14名 教科書やiPad, 遊具を含む) ・国や町, 市のため(7名)
- ・社会をより良くするため(3名) ・町の施設作り(2名)
- ・公園(1名) ・公共施設(1名) ・交番(1名) ・消防署(1名)
- ・公民館(1名)

3 税金は必要だと思いますか。

○はい 25名

(主な理由)

- ・机やいすも教科書もなくなって勉強ができなくなってしまうから。
- ・子供が遊ぶ場所がなくなってしまうから。
- ・学校には多くの税金が使われていることを学んだから。
- ・道路が壊れたままになってしまうから。
- ・交通費や警察の調査にお金がかかってしまうから。
- ・今の生活ができなくなってしまうから。
- ・町の建物がなくなってしまうから。
- ・ごみ処理場が機能しない。



4 授業を終えた感想

(主な感想)

- ・税金がもしもなかったら, 世界はどうなるのか考えました。
- ・税金の良さを知ることができて良かった。
- ・たくさんの税金の種類が分かりました。自分たちがやっていたテーマ以外にも詳しく調べてみたいと思いました。
- ・ICT機器と税金を調べました。学校内には税金が使われているICT機器がとても多かったことに驚きました。
- ・身の回りの物のほとんどが税金で使われていることが, 金額にしたら一目瞭然で分かりました。

- ・身の回りの物がほぼ税金なので改めてもっと物を大切に使おうと思いました。
- ・難しいこともたくさんあったけどいい勉強になった。
- ・改めて税金が大切だと思いました。
- ・学校に使われている物ほぼ全てに税金が使われているので税金の大切さが分かった。

7 研究の成果と課題

(1) 成果

- ・児童にとって身近な学校生活と税との関わりを課題としたことや、興味・関心に合わせて課題設定し、調べ学習をしたことで児童が主体的に取り組みながら活動できた。課題解決する中で、税金を身近に感じ、理解を深めることができた。また、事後アンケートの結果から、学習内容を理解し、全員が税金の必要性を実感するとともに、税金にマイナスなイメージを持っていた児童も税金は大切なものであるという考えに変容したことが分かった。
- ・税金についての理解に関連して、税金で賄われている学習用具や施設を大切に使おうとする態度を養うことができた。実際に日常生活でも、「水道代がかかるから水の出しっぱなしはだめだよ。」と友達に注意する場面を見ることができ、学習したことが実生活に結び付いていると感じられた。
- ・租税教室を児童の調べ活動の中間に設定したことで、児童が意欲的に参加することができた。また税務課より町の詳細な資料の準備や質問に答えていただいたことで専門的な知識を得ることができ、充実した時間となった。

(2) 課題

- ・家庭から協力をいただくことや啓発ができればよかった。懇談会で紹介する場面を設定したが、児童の発表を見せることや家庭でのインタビューを行うなど、より家庭での話題としてもらうことができたように思う。
- ・今年度、年間指導計画に一時的に租税教育を設定したため、社会科の時数が逼迫した。教科横断的に設定するなど、無理のないカリキュラム作成が必要だと思った。

租税教育実践発表一覧（昭和62年度～平成3年度）

年 度	学 校 名	担 当 教 諭 名	テ ー マ 名
昭和62	名取市立増田小学校	伊 藤 清 子	国民の生活の安定と向上を図るために、国民の三大義務のひとつである納税の義務を深く認識させる
	岩沼市立岩沼南小学校	千 葉 宗 久	租税に対する関心を高めるための指導のあり方についての一考察
	亶理町立逢隈小学校	堀 川 達 也	基本的人権の尊重が民主政治の根本であり、納税の義務はこれらの権利の見返であることを理解させる
	山元町立坂元中学校	佐 藤 光 雄	租税の役割と納税の義務の意味についての理解を深めさせる
	秋保町立秋保小学校	榊 井 裕	国の事業活動を通して、税の必要性や仕組みを理解させる
昭和63	名取市立閑上小学校	小 暮 出	社会科教育の中で、租税の重要性を指導し、公共心・協調心に結び付け、これらを実践できる人間性を目標とした指導の工夫
	岩沼市立岩沼西中学校	鈴 木 啓二郎	金融と財政の働きの中で、租税と国民生活の関わりについての指導から税の意識の向上を図る
	亶理町立吉田小学校	今 野 喜代子	福祉関係等身近な事例を上げて税の重要性を指導し、最後に税の作文を通じて自覚をさせる
	山元町立山下中学校	菅 野 敏 郎	税に関するもの三点を上げさせ、これについて公民教育で考察することによる租税教育の実践
平成元	名取市立増田中学校	小 野 政 稔	租税の働きやしぐみを理解させ、納税の義務を自覚させる
	岩沼市立岩沼西小学校	菊 地 真勇美	私たちの生活と政治の中から、租税について理解させる
	亶理町立吉田中学校	菊 地 嘉 昭	税に関する作品の応募から、財政と国民生活について指導
	山元町立坂元小学校	佐 藤 広 実	租税の簡単なしぐみから、租税への関心を高めさせる指導
平成2	名取市立増田西小学校	鎌 田 彰 郎	産業廃棄物処理に関する学習の中で、税金の働きについてふれ、税の重要性を認識させる
	岩沼市立岩沼中学校	樋 口 英 明	財政を支える財源である租税の異議や役割を、経済の実態と動向にからませながら、税の重要性を理解させる
	亶理町立高屋小学校	太 田 久仁男	税金によって作られた公共物や学校施設を大切に育てる態度を育てる指導の工夫
	山元町立山下中学校	江 戸 寿	税金を正しく理解させるため、視覚教材を利用しながら見せる教育の実践
平成3	名取市立名取第二中学校	清 野 ひさ子	国民生活の中で、租税の働きを正しく理解させるための指導
	岩沼市立岩沼小学校	山 田 健 一	一人ひとりを大切に政治の指導の中で、権利と税との関わりを考えさせる指導の実践
	亶理町立亶理中学校	本 間 和 哉	税に対し、生徒が主体的な活動により、興味・関心を持たせる指導の工夫
	山元町立山下第二小学校	佐々木 恭也 小 関 尚 子	一人ひとりが健康で幸せな生活を送るために、税金は、どのように使われているかを理解させる

租税教育実践発表一覧(平成4年度～平成8年度)

年 度	学 校 名	担 当 教 諭 名	テ ー マ 名
平成4	名取市立不二が丘小学校	丸 子 智 子	快適で豊かな生活を送るために税金はどのように集められ、また、どう使われるのか、自ら調べさせ理解させる指導
	岩沼市立岩沼北中学校	鈴 木 尚	租税の働きや仕組みを把握させ、正しい租税制度の在り方を理解させる指導
	亶理町立亶理小学校	木 村 和 正	税金が一人ひとりの生活に役立っていることを理解させる指導の工夫
	山元町立山下小学校	岩 佐 美保子 佐 藤 真 一	将来の自分や国を考えるために、税についての知識を深め、税の社会的意義を考えるとともに、興味・関心を持たせるような指導の工夫
平成5	名取市立第二中学校	丹 野 光 洋	国民生活に大きな影響力をもつ、財政を支えている租税の意義を理解させ、また、税金は共同社会を維持するための会費であることに気付かせる指導の工夫
	岩沼市立玉浦小学校	渡 邊 清 孝	問題意識を持ち、自ら調べ解決する学習活動を通して、児童の税に対する興味・関心を高めさせる指導
	亶理町立吉田中学校	永 浦 晴 久	金融と財政の働きを租税教育の中心場面ととらえ、消費者としての私たちと関連させ、税をより身近なものとする指導の工夫
	山元町立中浜小学校	近 藤 英 人	児童一人ひとりに生活の中で、自分が税に対しどう関わっていけばよいかと考えさせる指導の工夫
平成6	名取市立館腰小学校	高 橋 壽 子	問題意識をもって、自ら調べ解決する学習により、児童の税に対する関心を高めさせる税の意義と役割を理解させる指導の工夫
	岩沼市立岩沼西中学校	横 山 純	財政収入は租税を中心に成り立っていることを理解させ、納税の義務を負う国民のあり方について考えさせる指導
	亶理町立長瀬小学校	大 沼 仁	税金の必要性とその使われ方を理解させる指導を通して、税に対する興味・関心を高めさせる指導の工夫
	山元町立山下第一小学校	大 沼 毅	児童自ら税に対する課題意識を持たせ、調査し解決していく活動から、税の意義を理解させ、公共社会での責任と義務を培わせる指導の工夫
平成7	名取市立愛島小学校	石 川 峰 生	子供の租税に対する関心を高めさせる指導の工夫
	岩沼市立岩沼小学校	大 沼 毅	税制度の理解を通して、公共社会での助け合いに対して、興味・関心を高めさせる指導の工夫
	亶理町立荒浜中学校	田 原 満	租税の意義と目的を理解させる指導を通して、税への関心を高める指導の一考察
	山元町立坂元小学校	菅 原 裕 子	税金の仕組みとその使われ方を理解させる指導を通して、税に対する関心・理解を高めさせる指導の工夫
平成8	名取市立館腰小学校	芳 賀 佳 恵	課題意識を持ち自ら調べ解決する学習活動を通して、児童の税に対する関心を高めるための指導の在り方
	岩沼市立岩沼南小学校	菊 地 真勇美	税金は人々のくらしとどのように結びついているのかについて、身近な事例から気づかせ、納税の大切さを理解させる指導の工夫
	亶理町立荒浜小学校	佐々木 洋 美	計画・調査・発表を取り入れた学習活動を通して、児童の税に対する理解を深める指導の一考察
	山元町立坂元中学校	成 毛 毅	消費税と財政政策との関係をとらえて、税への関心を高める社会科公民的分野指導の一考察

租税教育実践発表一覧(平成9年度～平成13年度)

年 度	学 校 名	担 当 教 諭 名	テ ー マ 名
平成9	名取市立増田小学校	高 橋 千 佳	税に対する意識・関心を高めるための指導 ～6年「みんなの願いを実現する政治」の指導を通して～
	岩沼市立玉浦中学校	長 澤 裕 司	税への関心を高め、税を見る目を養う指導の一考察 ～税の公平性を考える討論活動を通して～
	亶理町立逢隈中学校	菊 地 幸 子	社会科学習における租税教育の在り方と指導方法の工夫
	山元町立山下中学校	佐 藤 泉	税に対する理解を深める指導の一考察 ～財政の学習を通して～
平成10	名取市立不二が丘小学校	杉 田 由 英	児童の税に対する関心を高めるための指導 ～6年「みんなの願いを実現する政治」の指導を通して～
	岩沼市立岩沼西中学校	及 川 浩 芳	社会科における租税への認識を高める指導の工夫 ～各分野において、身近な資料を活用し、税の必要性を理解させる指導を通して～
	亶理町立逢隈小学校	鈴 木 健	自分なりの課題を持ち、自分なりの方法で調査や課題解決を行い、自分なりの方法で表現していく子供の育成 ～租税に関する学習を通して～
	山元町立山下第二小学校	佐 藤 真 一	小学5年生の税に対する興味・関心を高めさせる指導計画の工夫
平成11	名取市立下増田小学校	高 橋 宏 明	児童の税に対する関心を高めるための指導の工夫 ～課題意識を持って自ら調べ表現する活動を通して～
	岩沼市立岩沼西小学校	水 沼 久美子	児童の税に対する関心を高めるための指導と学習計画の工夫
	亶理町立亶理中学校	星 和 敏	租税への関心を高めるための指導の工夫
	山元町立山下小学校	阿 部 広 力	小学校4年生の社会科学習における租税教育の効果的取り扱いについて
平成12	名取市立関上小学校	赤 沼 隆 史	児童の税に対する関心を高めさせる指導の工夫 ～自ら課題意識をもって調べる活動を通して～
	岩沼市立岩沼中学校	内 海 郁 子	児童の税に対する興味・関心を高めるための指導法の工夫 ～学び方を学ぶ学習を通して～
	亶理町立吉田小学校	渡 辺 隆	問題意識を持ち自ら学ぶ児童をめざして ～6年社会科の税金学習を通じた実践と考察～
	山元町立中浜小学校	阿 部 優 子	税に関することがらを主体的に学習させるための工夫
平成13	名取市立高館小学校	佐 藤 真理子	児童が税に対する興味・関心を持つための指導の工夫 ～住みよい「〇〇王国」作りの活動を通して～
	岩沼市立岩沼小学校	高 橋 悟	児童の税に対する興味・関心を高め、主体的に学習できるための指導の工夫
	亶理町立高屋小学校	大 槻 裕 史	児童の税に対する関心を高めるための指導の工夫 ～課題意識を持って自ら解決する活動を通して～
	山元町立山下第一小学校	佐 藤 尚 利	学校のプールが新しくなったよ！ ～税金博士を目指して～

租税教育実践発表一覧(平成14年度～平成18年度)

年 度	学 校 名	担 当 教 諭 名	テ ー マ 名
平成14	名取市立増田西小学校	鈴木 和 彦	児童の税に対する関心を高めるための指導の工夫 ～租税に関するニュース番組作りの活動を通して～
	岩沼市立玉浦中学校	大 堀 真 澄	税の関心を高め、理解を深める指導の一考察 ～租税に関する討論活動を通して～
	亶理町立亶理小学校	大 森 実	社会科との関連をはかった租税教育の試み ～税に関する興味・関心を育む単元の工夫を通して～
	山元町立坂元小学校	高 倉 成 行	児童が税に対する興味・関心を持つための指導の工夫 ～総合的な学習の時間「税金ってなんだ」の活動を通して～
平成15	名取市立ゆりが丘小学校	松 浦 和 浩	学年ごとの児童の実態に応じた効果的な租税教室のあり方
	岩沼市立玉浦小学校	柴 田 新 二	税に関する興味・関心を高め、主体的に学習に取り組む指導 の工夫 ～税についての調べ学習、未来の玉浦を考える活動、道徳を 通して～
	亶理町立吉田中学校	小 鴨 幸 生	租税に関する興味・関心を高める指導法の工夫
	山元町立山下第二小学校	佐 藤 孝 志	税の学習を取り入れた総合的な学習の時間の指導の一考察 ～「未来の山元町を考えよう」の活動を通して～
平成16	名取市立増田中学校	渡 邊 義 行	公民の学習における租税への関心を高める指導の工夫
	岩沼市立岩沼北中学校	瀬成田 実	税への関心を高め、思考を深める指導法の工夫 ～適切な資料展示や討論活動をとおして～
	亶理町立長瀬小学校	西 澤 勝 雄	社会科学学習及び総合的な学習における租税教育の効果的な指 導の一考察 ～4年社会科「住みよいくらしをささえる」、5年総合的な 学習「わたしたちの亶理町を考えよう」の活動を通して～
	山元町立山下小学校	平 間 正 信	自分らしさを発信する子ども ～学んだことを発信する学習を通して(小学5年生の実践) ～
平成17	名取市立関上中学校	大 宮 潤	租税への関心を高める指導法の工夫 ～3年間を見通した租税教育～
	岩沼市立岩沼西小学校	建 入 文 夫	租税について考え、正しく理解させるための指導法の工夫 ～租税に関する社会科の学習を通して～
	亶理町立荒浜中学校	佐 藤 秀 樹	公民としての資質を育てる租税学習の工夫 ～地域住民へのアンケート活動を通して～
	山元町立山下第一小学校	稲 垣 祐 子	税を通して山元町の良さを知り、発信する子どもの育成 ～総合的な学習の時間の活動を通して～
平成18	名取市立館腰小学校	相 原 直 人	税に関心を持ち税金の大切さを考えることのできる児童の育 成 ～ぼくらの税金ホームページ作りを通して～
	岩沼市立岩沼西中学校	森 本 直 樹 菅 正 弘	公民としての資質の基礎を養う租税学習の工夫 ～3学年公民での継続した学習を通して～
	亶理町立荒浜小学校	塚 口 誠	進んで学習に取り組む児童の育成 ～租税に関する学習を通して～
	山元町立山下中学校	仙 石 直 樹	租税について正しく理解し、主体的に考えることができる生 徒の育成 ～3年公民分野における「タックスレポート」づくりを取り 入れた学習活動の工夫を通して～

租税教育実践発表一覧(平成19年度～平成25年度)

※ 平成23、24年度は震災により中止

年 度	学 校 名	担 当 教 諭 名	テ ー マ 名
平成19	名取市立那智が丘小学校	大 友 幹 雄	税に関心をもち、税の社会的意義を考えることのできる児童の育成 ～税に関する新聞作りの活動を通して～
	岩沼市立岩沼南小学校	横 山 勉	児童が興味・関心をもつための指導の工夫 ～小学校4年生からの「税に関する学習」を通して～
	亶理町立逢隈中学校	長 田 康 宏	税に対する興味・関心を高める指導法の工夫 ～身近な地域素材の活用を通して～
	山元町立中浜小学校	日 下 泰 憲 西 澤 彰 子	児童の税に対する興味・関心を高めるための指導の工夫 ～総合的な学習の時間「中浜の松ぼっくりから」の実践を通して～
平成20	名取市立第一中学校	小 嶋 幸 生	租税への関心を高める指導法の工夫 ～身近な資料や租税に関する討論活動を通して～
	岩沼市立岩沼中学校	長 澤 裕 司	租税への関心を高め、納税者としての自覚を培う指導の一考察 ～財政上の課題を考えさせる場面の工夫をとおして～
	亶理町立逢隈小学校	高 倉 成 行	税金の役割を理解させるための指導の工夫 ～小学校6学年社会科「わたしたちの願いを実現する政治」の学習を通して～
	山元町立坂元中学校	堀 内 恵 理 子	税に関心を持ち、主体的に社会とかわろうとする姿勢の育成 ～3年公民的分野における租税学習を通して～
平成21	名取市立第二中学校	丹 野 光 洋	納税者としての意識を高めるための指導法 ～租税教室や様々な資料で学んだことを基にした消費税に関するディベートを通して～
	岩沼市立岩沼小学校	佐久間 秀 和	租税への関心を高める指導の一試み —小学校6学年社会科「日本の歴史」での税の学習と「租税教室」の実践を通して—
	亶理町立亶理中学校	浦 邊 盛 勝	税に対する興味・関心を高め、発展させる指導法の工夫 ～生徒自身の身近な素材の活用を通して～
	山元町立坂元小学校	清 野 政 子	児童が税に対する興味・関心をもつための指導の工夫 —総合的な学習の時間「税金ってなに」の活動を通して—
平成22	名取市立相互台小学校	大 沼 史 柄	租税への関心を高めるための指導の工夫 —公共施設から税金を考える—
	岩沼市立玉浦中学校	山 田 洋 子	税の必要性についての意識を高めるための指導法の工夫 —小学校6学年社会科「わたしたちの願いを実現する政治」の学習を通して—
	亶理町立吉田小学校	渡 辺 英 明	身近なことから税金の意義や役割を理解させる指導法の工夫 ～小学校6学年社会科「わたしたちの願いを実現する政治」の学習を通して～
	山元町立山下第二小学校	針 生 武 宏	身近な生活での税に関心をもち、税の大切さを考えることのできる児童の育成 ～総合的な学習の時間「山元町の未来を考える」の学習を通して～
平成25	名取市立増田小学校	佐 藤 真 一	税に対する興味・関心を高めさせる指導の工夫 ～自ら調べ、主体的に税を考える学習を通して～
	岩沼市立岩沼西小学校	管 野 千 里	税金の役割と必要性を理解できる児童を育成するための指導の工夫 ～小学校6学年社会科「わたしたちの願いを実現する政治」の学習を通して～
	亶理町立高屋小学校	小 松 晃	税金の大切さを考えることのできる児童の育成 ～総合的な学習の時間「人権福祉」学習-だれもが幸せに生きる町づくりを通して～
	山元町立山下中学校	太 田 侑 吾	租税への興味・関心を深化させる指導の工夫 ～山元町の復興に関する取り組みを通して～

租税教育実践発表一覧(平成26年度～平成30年度)

年 度	学 校 名	担 当 教 諭 名	テ ー マ 名
平成26	名取市立不二が丘小学校	清 野 秀 和	租税への関心を高めるための指導の工夫 ～第6学年 総合的な学習の時間「税金について考えよう」の学習を通して～
	岩沼市立岩沼西中学校	阿 部 幸 子	租税への関心を高め意義や役割を理解させる指導法の工夫 ～租税教室や身近な資料の活用を通して～
	亶理町立亶理小学校	酒 井 久美子	町民の願いを実現するために税金が果たす役割を理解させる指導の工夫 ～「総合的な学習の時間」と6学年社会科「わたしたちの願いを実現する政治」の学習との関わりを通して～
	山元町立坂元中学校	渡 邊 淳 一	将来の納税者としての意識を育む税金学習
平成27	名取市立関上中学校	荒 川 美 貴	積極的納税者を育むための指導の工夫 ～税の使い道についての学習や租税教室の活用を通して～
	岩沼市立岩沼南小学校	丸 谷 由 浩	未来の望ましい納税者を育てる指導の実践 ～税金に対する正しい知識を身に付け、正しく納めようとする態度を養う指導を通して～
	亶理町立吉田中学校	妹 尾 文 男	納税者意識を高める指導の工夫 ～生徒の疑問を大切に授業づくりと税について考える機会を増やす実践から～
	山元町立坂元小学校	佐 竹 聡 子	税金の役割を理解し、税金の必要性を感じられる児童の育成 ～「坂元の復興と税金とのかかわり」を考える学習を通して～
平成28	名取市立下増田小学校	手 塚 英 海	税に対する知識を深め、健全な納税者を育てる指導の実践 ～主体的に課題を設定し、探求する学習を通して～
	岩沼市立岩沼中学校	武 田 裕 光	地方自治の学習を通して租税の意義と役割を理解させる指導の工夫
	亶理町立長瀬小学校	武 田 清 美	税に対する興味・関心を高め、税の意義や役割を理解しようとする児童の育成 ～税について児童自ら課題をもち、調べる活動を展開する学習から～
	山元町立山下第二小学校	渡 部 史 郎	未来の納税者を育てる指導の一試み ～児童の「税」への興味・関心を生かした調べ学習を通して～
平成29	名取市立関上小学校	菅 原 さとみ	第6学年社会科学習として行う租税教育のあり方一考察
	岩沼市立岩沼小学校	三 澤 恵	税の意義や役割を理解し、政治参加に対する意欲を高める指導の工夫 ～税金の使い道について考えさせる活動を通して～
	亶理町立荒浜中学校	小 鴨 幸 生	租税への関心を高めるための指導法の工夫 ～学び合いを取り入れた指導を通して～
	山元町立山下小学校	森 大 地	税に対する興味・関心を高め、税への理解を深める指導の工夫 ～主体的に課題を設定し、自ら調べる活動を通して～
平成30	名取市立第一中学校	榊 田 修	租税教室や資料を用いた指導の工夫
	岩沼市立玉浦中学校	川 又 大 輝	歴史的分野における租税教育の可能性 ～近代革命期と現在の税制度の比較を通して～
	亶理町立荒浜小学校	高 橋 洋 彰	税への興味・関心を高め、正しい知識と納税意識をもった子どもの育成 ～児童自らが課題をもち、調べる活動を通して～
	山元町立山下第一小学校	名 取 富 江	児童が税に対する興味・関心をもつための指導の工夫 ～総合的な学習の時間「税金ってなんだ」の学習を通して～

租税教育実践発表一覧(令和元年度～)

※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により中止

年 度	学 校 名	担 当 教 諭 名	テ ー マ 名
令和元	名取市立高館小学校	大 槻 裕 史	税に対する興味・関心を高め、税の意義や役割への理解を深める指導の工夫 ～社会科の学習として行う租税教育の実践を通して～
	岩沼市立玉浦小学校	村 田 志 乃	児童が税を身近に感じ、税に関する興味・関心を持つための工夫 ～課題設定の工夫と学び合いの学習を通して～
	亶理町立逢隈中学校	都 澤 智 洋	税を通して、支えられている社会を実感させるための授業実践の工夫 ～震災前、震災直後、現在の亶理町の収入を比較させることを通して～ ～亶理町立逢隈中学校の校内研究実践を通して～
	山元町立山下中学校	風 間 啓 太	租税を正しく理解し、主体的に考えることができる生徒の育成 ～租税教室体験を通して～
令和3	名取市立増田西小学校	齋 藤 幸 恵	将来積極的に社会に参画していく納税者を育む指導の工夫 ～段階的に継続して育むカリキュラムを通して～
	岩沼市立岩沼北中学校	古 川 明 子	租税の意義や役割を正しく理解し、納税者として社会や国の在り方などを主体的に考えることができる生徒の育成 ～身近な地域の調べ学習を通して～
	亶理町立逢隈小学校	鈴 木 康 史	児童が税に関する興味・関心を高めるための指導の工夫 ～児童自らが課題を設定し、調べる活動を通して～
	山元町立坂元小学校	鈴 木 晋 也	租税についての関心を高め、税金の必要性を実感する児童の育成 ～税に関する身近な問いについて調べ、解決する学習を通して～
令和4	名取市立ゆりが丘小学校	小 林 敏 之	税を身近なものとして捉え、知識を深めるための指導の工夫 ～I C T機器の効果的な活用を通して～
	岩沼市立岩沼西小学校	先 崎 晴 香	児童が納税や政治に興味・関心をもち、考えを深める指導の工夫 ～身近な地域(岩沼市)を題材とした学習活動の工夫～
	亶理町立亶理中学校	児 玉 彩 夏	租税の意義や現状を正しく理解し、納税者として税制の在り方や関わり方を主体的に考えることができる生徒の育成 ～国税庁や財務省の資料を活用し、自ら考える学習を通して～
	山元町立山下第二小学校	高 橋 丈 喜	税に関する関心を高め、「まちづくり」にいかそうとする児童の育成 ～「未来の山元町」について調べ、意見交流する学習を通して～
令和5	名取市立館腰小学校	川 村 理 恵	租税への関心を高め、意義や役割への理解を深める指導の工夫 ～第6学年 総合的な学習の時間「税金について考えよう」の学習を通して～
	岩沼市立岩沼西中学校	高 橋 尚 子	既習事項を活かし、税の学習に主体的に取り組む生徒の育成 ～古代と現代の税制度の比較を通して～
	亶理町立吉田小学校	川 田 真	税への興味・関心を高め、税金の必要性や重要性を実感するための指導の工夫 ～自分でテーマを設定し、調べ、伝え合う活動を通して～
	山元町立山下小学校	佐 藤 圭 祐	租税についての関心を高め、税金を身近に感じる児童の育成 ～学校生活と税との関連を調べ、解決する学習を通して～

令和5年度 仙台南地区租税教育推進協議会 役員名簿

役 職	構 成 機 関	名 等	氏 名
会 長	亶理町教育委員会	教 育 長	奥 野 光 正
副 会 長	公益社団法人仙台南法人会	会 長	佐 藤 和 也
	仙 台 南 税 務 署	副 署 長	高 橋 忠 信
常 任 幹 事	仙 台 南 税 務 署	総 務 課 長	小 野 繁
幹 事	宮城県仙台教育事務所	所 長	星 和 彦
	亶理町教育委員会	教育総務課長	太 田 貴 史
	亶理町教育委員会	教育総務課長	池 田 尚 人
	名 取 市 校 長 会	会 長 (増田小学校長)	鈴 木 博 幸
	岩 沼 市 校 長 会	会 長 (岩沼中学校長)	宮 本 利 浩
	亶理町校長会	会 長 (亶理小学校長)	大 沼 毅
	山 元 町 校 長 会	会 長 (山元中学校長)	白 鳥 修
	仙台南税務署管内会 青色申告会連合会	会 長	猪 股 弘 志
	仙 台 南 間 税 会	会 長	遠 藤 利 昭
	宮城県仙台南県税事務所	所 長	寺 嶋 智
	亶 理 町	税 務 課 長	佐 藤 文 行
会 計 監 事	東北税理士会仙台南支部	支 部 長	原 修一郎
	仙台南小売酒販組合	理 事 長	藤 原 仁 昭

顧 問	名 取 市	市 長	山 田 司 郎
	岩 沼 市	市 長	佐 藤 淳 一
	亶 理 町	町 長	山 田 周 伸
	山 元 町	町 長	橋 元 伸 一
	仙 台 南 税 務 署	署 長	千 葉 治 彦

令和6年3月発行

発行者 仙台南地区租税教育推進協議会

事務局：仙台市太白区柳生2丁目28番2号（仙台南税務署内）

（022）306-8001 内線305